

INUYAMA R.C.



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために
国際ロータリー2021～2022年度テーマ

■会 長 : 高 橋 秀 治
■幹 事 : 藤 井 友 喜
■会報委員長: 鈴 木 敏 之

事務所／〒484-0061 犬山市大字前原字橋爪山 1-4 犬山カンツリー倶楽部内
電 話／0568-61-5219 F A X／0568-61-5523
U RL／<http://www.inuyama-rc.org/> e-mail／info@inuyama-rc.org
例会場／〒484-0061 犬山市大字前原字橋爪山 1-4 犬山カンツリー倶楽部
電 話／0568-61-2281 毎週火曜日／12：30～13：30



まずはチャリティゴルフコンペの方ですけれども、こちらもお参加された皆様本当にご苦勞様でございました。特に大会副実行委員長の朱宮パスト会長、お疲れ様でございました。2日間とも大変良い天候に恵まれて、愛知県の知多半島の先、美浜町の新南愛知カントリークラブ美浜コースで、私も参加させていただきました。

ここは9月に女子のプロトーナメントであるマンシングウェアレディース東海クラシックという大会が行われたようです。今年の9月にもこのトーナメントはやるはず。私も1度その女子プロを見に行つたのですけれども、その時も非常にいいコースだなと思ひまして、今回は初めて2日間回らしていただきました。

1日目は朱宮さんが骨折りいただきまして、20名の女子プロがいらっしやって、米山みどり一派の方いらっしやいました。ちょうどRCで20組予約しておりまして、1組に1人女子プロの方がいらっしやいました。私の組はちょうど近所の方でして、お住まいが江南の方で、扶桑に移られたとおっしゃつたのですが、武田由紀さんティーチングプロでした。扶桑のオークビレッジという打ちっぱなしにいらっしやるようでして、大変教えるのが上手で、私もラウンドしながらずいぶん教わつて、割と何かうまくいったことが多かったです。皆様もご興味あられたら、そのオークビレッジに行かれるといらっしやるそうです。RCといえば快く教えてくださると思います。武田由紀プロです。よろしくお願ひいたします。

5月19日の柏森南保育園でのWFFカーボンゼロ植樹ですが、こちらは準備が色々ございまして、行つたその日にやれるものではございませんので、準備で大島青少年奉仕委員長と藤井幹事と保浦副幹事には、本当にいろいろとお世話になりました。

当日は大変いいお天気で、高橋会長のご挨拶がありました。最初の取っ掛かりから、「皆さん、こんにちはー！！」と言って、ちょうど私みたいな頭の「錦鯉」という芸人がいるのですけれども、そのつかみで特に園児の年長さんが喜んでしまつて、その後は生き生きした顔で高橋会長のご挨拶をきちんとお利口さんに聞いてくれました。

地区の事業で奉仕しましたけれども、いいロータリー活動になったと思います。当日来てくださった朱宮パスト会長、近藤パスト会長、稲垣クラブ奉仕委員長、安田SAAと四役、大変お疲れ様でございました。こういった事業でご縁をいただきまして、そういったご縁をいただけるのが私は非常に嬉しくて、そういった活動が、友を作り、知り合いを作り、楽しいロータリー活動に繋がっていくと私は思っております。そのようなご縁を本当に大切に、そういった活動にもどんどん参加していこうと思ひています。皆様もどうぞよろしくお願ひします。

簡単ですが会長代理の挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。



ロータリー米山奨学生 (黄 夢婷さん)



奨学金(5月分)を授与しました

◇黄 夢婷さんご挨拶



こんにちは。お久しぶりです。

先週はワクチンの3回目を打つて、来られなかったです。最初は2回目の時よりだいぶ良くなったと思つて、勉強しようと思つたのですよ。でも結局熱がすぐ出て、汗ながら2日間休みました。

あと先月WFFのイベントに参加したんですが、久しぶりにボランティア活動やつて、すごく楽しかったです。皆様からチケットもらつて、おいしいもの沢山食べました。ありがとうございます。以上です。



その他委員会報告

◎親睦活動委員会 (近藤 俊也委員長)

6月25日土曜日最終例会がございまして。本日と来週で出欠の確認をさせていただきたいと思ひます。是非多くの皆様の出席をお待ちしておりますので、どうぞよろしくお願ひします。

＝最終例会のご案内＝

日時；6月25日（土）（＊6月21日（火）例会変更分）

例会 17：30／懇親会 18：00～20：00

場所；ホテルインディゴ犬山有楽苑

家族登録料：不要

◎青少年奉仕委員会（大島 匡博委員長）

冒頭に加藤副会長よりご挨拶の方でありました
WFF カーボンゼロ植樹についてご報告させていただきます。

先週5月19日（木）になりますが、扶桑町柏森南保育園の庭の一角をお借りしまして、WFF カーボンゼロ植樹を執り行わせていただきました。当事業は小牧 RC さんとの合同で行わせていただきまして、小牧 RC の方はレモンの木、犬山 RC はマテバシイの木を植樹させていただきました。また最後に園児の子たちの踊りと歌を我々頂戴いたしまして、大変和む時間でして、嬉しい限りでございました。お返しとして、子供たちに、少ないですが、お菓子を一人ずつお渡しして、会が終了とさせていただきます。以上ご報告とさせていただきます。

◎次年度幹事（安田 一生君）

次年度からの報告です。6月2日（木）に第3回理事会及び第2回クラブアッセンブリーを開催いたします。場所はここ犬山カンツリー倶楽部にて、12時より昼食、12時30分より会議を予定しております。次年度役員・理事・委員長の皆様におかれましては、ご予定していただきます様お願いいたします。

また、本日次年度用のクラブ計画書作成に当たり、会員名簿の確認をしております。名簿を回覧しておりますので、ご確認くださいませ様お願い申し上げます。以上、次年度からの報告でした。

＝22-23年度第3回理事会&第2回クラブアッセンブリーご案内＝

日時；6月2日（木）

昼食 12：00～／会議 12：30～1時間30分程度

場所；犬山カンツリー倶楽部



2022～2023年度のための地区研修・協議会報告1 （安田一生次期幹事）

◎第1分科会 原 正男 次期会長 （代読；山田直廣 次期副会長）

テーマ：ロータリーの未来を目指して

～わたしたちは、時代とともに、社会とともに、歩む～

去る4月17日名古屋国際会議場におきまして地区研修協議会が行われました。本会会議ではホストクラブ西尾 KIRARARC の歓迎の挨拶、省名ガバナー、伊藤次期地区研修リーダーの挨拶、特別公演はロータリー財団地域コーディネーターの服部良男さんが「ロータリーの戦略行動計画ってなに？」の演題で40分お話を頂きました。本会議のあと、九つの分科会に分かれ、それぞれのテーマに沿って研修協議会が行われました。その中でこれから報告させていただきますのは、箆橋美久ガバナーエレクトの所信表明の概要でございます。



箆橋ガバナーエレクト所信表明では、まずジェニファーE ジョーンズ RI 会長方針「イマジン ロータリー」を説明、それは「想像してください。私達がベストを尽くせる世界を想像してください」想像とは変革の未来を設計してみてください。と箆橋エレクトは解釈をされました。また、地区方針の基本はDEIの推進。D：ディバーシティ日本語で多様性、E：エクイティは公平、I：インクルージョンは開放性。特に多様性では偏見を持たない、外国人も含め女性会員の増強に努めたいと。

さらに重点分野に「環境問題」が新設されました。地球温暖化や生物多様性の損失、途上国の大気汚染や水質汚染、廃棄物など環境問題は将来を担う子供たちのかけがえのない未来を奪うものであると、さらに「脱炭素」「脱プラスチック」などが大きなうねりとなっています。身近なことから始めるよう努力をしましょう。強調されました。

地区方針としてのテーマは「未来で描こう、笑顔でつながろう」「一人一人のチャレンジを力に！変化に対応できるクラブを目指して」であります。

ロータリーの中核的価値観である「親睦」「高潔性」「多様性」「リーダーシップ」「奉仕」をベースに、より革新的かつ、柔軟な活動体制を構築していく必要があります。また奉仕活動の本質は笑顔にあります。私達が笑顔を忘れず一人でも多くの方たちをロータリーの力で笑顔にしていくことを目標のひとつにしましょう。

＝活動方針＝

- ①地域社会に役立つクラブになろう として
 - ・地域社会の他団体と連携し支援活動に力を入れましょう。それをクラブ内に周知してから行動しましょう。
- ②会員増強をしよう
 - ・約400名増やし、会員数5,000名を目標にしよう。
 - ・インターンシップ方式を導入しよう。
 - ・女性会員の在籍率を現状の6%から8%を目標にしよう。
- ③変化に対応できるクラブへ として
 - ・各委員会にリモート会議の導入を図り、効率的且つ会員の健康の確保に努めましょう。
 - ・近隣クラブとの交流を通じ、新しい活動の方法を研究し、共同事業の促進を図りましょう。
- ④計画的なクラブ運営、活動を実施しよう として
 - ・明確な年間活動計画をクラブ会員に周知し奉仕事業を成功させましょう。

- ⑤インパクトのある奉仕活動の実施 として
- ・地域社会のリーダーと協力し、問題点ニーズを察知し、解決に向けて地域に貢献しましょう。
 - ・環境改善事業として身近なことから活動し、川、海をきれいにする努力をしましょう。
- ⑥ロータリーファミリーとの連携を強化しよう として
- ・米山記念奨学学友、青少年学友との連携を図り将来のロータリアン育成に努める。
 - ・特にローターアクトクラブの自立、自営に向けた活動を始めましょう。
- ⑦ポリオ撲滅への貢献
- ・ポリオ撲滅募金活動をロータリー財団中心に実施し、地域社会へのアピールを行いましょう。
- ⑧クラブ活性化セミナーを7月8日に開催いたします。
- RC は魅力があり明るく地域社会から頼られる存在になるためには、を趣旨として、具体的な戦略項目としては、参加者の基盤を広げ、積極的なかわりを促し、より大きなインパクトを促すことが、クラブを活性化させることだと思います。
- 最後に 国際大会（メルボルン）へ参加しよう
開催日は 2023 年 5 月 27 日～31 日迄

続きまして本会議終了後の第 1 分科会の報告をさせていただきます。

テーマ「ロータリーの未来を目指して わたしたちは時代と共に、社会と共に歩む」です。

1.WFF について

次年度 WFF 実行委員長 伊藤靖祐さんが挨拶

2.拡大について

次年度地区拡大副委員長 服部良男さんは会員数は 10 年後には今の状況が続くと 4,000 人を割り込むこととなります。5,000 人を目標に拡大を目指し、女性は現状の 6%から 8%にしたい

3.ロータリーの危機管理について

次年度地区危機管理委員長 寺本善雄さんからは青少年プログラムの活動地域において災害が発生した場合

①安否確認は

- ・震度 6 以上の地震が発生した場合
- ・風水害により自治体から「避難指示」が出された場合
- ・その他重大な危険に見舞われた場合

②連絡内容は青少年やプログラム参加者の安否と負傷状況、避難先です。

③安否情報の連絡はただちに保護者と地区危機管理委員長に対して行う。

④防災対策については

次年度地区防災対策委員長 加藤定伸さんから今後 30 年間の南海トラフの発生確率と過去の主な地震について説明があり「歴史はくり返す」と注意喚起されました。

4.会員増強については

次年度会員増強委員長 石井弘子さんから直近 1 年で 200 名入会されました。増強の方法として、従来の方法を更に強化し、従来と違うターゲットを、従来と

違う方法を採用する。残念ながら地区内のクラブの半分はパンフレットを作っていない。(地区としてパンフレットを作成配信してもらえる。)?

女性会員増強として「ロータリー女性の集い」を開催します。世界では 25%が女性在席率、日本は平均 8%、2760 地区では 6%弱。女性会員の増強が急務ですとのお話でした。

最後にまとめとして澤田文雄次期ガバナー補佐が、去年はオリンピックイヤーでしたが私達はアスリートでなく、聖火ランナーとして笑顔でゆっくり次につながるバトンタッチをしましょうと、締めくくられました。

以上、地区研修本会議、第 1 分科会の報告とさせていただきます。

* * * * *

◎第 3 分科会

山根雄司 次期公共イメージ向上委員長
テーマ：公共イメージ向上を図ろう



第 3 分科会は、旧「広報・雑誌委員会」と「会報委員会」が合体した新しい委員会ですが、地区では数年前から活動がなされているそうです。

第 3 分科会は「公共イメージ向上を図ろう」のテーマで研修が始まりました。最初に次期地区公共イメージ向上委員長の堀尾委員長がロータリークラブの知名度について、話をされ台湾や、フィリピン、インド等では 100%に近い認知度であるが、日本では「名前は聞いたことがある」という人を含めても 60%に、いかにないくらいの認知度だそうです。ロータリーの中身を知っている人は 10%いかにないくらいだそうです。ライオンズクラブと比較しても知名度は低いようです。

そもそも、ロータリークラブは、「隠匿の美」を尊重して広報活動に関してはほとんど行っていなかったからかもしれません。しかし今後は、知っていただき、認めてもらい、理解していただく必要があると、方向転換がなされました。

そのためには、地域が何を必要としているか、何をしたいのか、必要とされている奉仕活動を実施していかなければならないのではないかと。海洋プラ問題や、カーボンゼロ支援の植樹、平和奉仕プロジェクトなど、新しいジャンルの奉仕活動を展開していかなければならないのではないかと。

また、広報活動に関してもマスメディアに対する情報発信、SNS の活用、地区ホームページの活用、雑誌への投稿、中日ビズナビ等利用して発信していかなければ

ればならない。ロータリアン一人一人が広報マンでなければならぬと、言っておられました。

兄玉次期地区公共イメージ向上副委員長は、My Rotary への登録が 50%未満で、あり早期登録と、活用していただきたい。また、地区アプリや SNS の活用も積極的に行っていただきたい。との報告がありました。

水野委員からは、各クラブへの取材報告があり「プロが教える小学生バレーボール教室」の開催、「桜保全作業（雑草除去作業）」「オフロード・トライアスロン応援例会」など ロータリークラブとして地域社会に奉仕するロータリアンを PR したり、地域に対してアピールし、頼られるロータリーにしていってください。と報告がありました。

続いて、ロータリーの友委員会 地区代表委員の尾本さんからは、「ロータリーの友」への投稿のお願い。特に 9 月は、「ロータリーの友」月間なのでお願いしますとのことでした。採用されやすい記事の内容は下記の通りです。

- ①奉仕事業を行っている写真（カメラ目線や、集合写真はダメ、作業中の写真）
- ②原稿に関しては、ポイントを絞って、簡潔明瞭 200～300 文字で、
- ③事業内容がタイムリーであること。

以上のことに注意して投稿してくださいとのことでした。

また、ロータリーの友のウェブサイトが本年 7 月より開設されます。クラブの ID が送ってきますのでキーワードで検索できるようになります。例えば犬山ロータリークラブで検索すれば、犬山のこれまでの投稿内容が見ることができます。

以上のような内容で、90 分の研修を受けました。

先だつての「明石ロータリークラブ」のような不祥事があれば、公共イメージの向上も台無しです。ロータリアン一人一人が広報マンの意識をもって日々奉仕活動を行っていただきたいと思います。

ご清聴ありがとうございました。

* * * * *

◎第 4 分科会

福富孝弘 次期奉仕プロジェクト・社会奉仕委員長

テーマ：未来を描くことの出来るロータリーの奉仕活動のヒントを

～変化に対応できるクラブを目指して～

地区研修協議会第 4 分科会「職業奉仕・社会奉仕・環境保全・RCC 部門」はテーマを「未来を描くことのできるロータリーの奉仕活動のヒントを」サブテーマ（変化に対応できるクラブを目指して）として開催されました。

まず初めに社会奉仕と環境保全、RCC について 3 名の次期地区社会奉仕副委員長より説明がありました。社会奉仕としては各クラブの活動を CD-R にまとめているので参考にして欲しいとの事で諸活動を映像で紹介されました。また環境保全については愛知県の環境基本計画に沿って 2030 年を目標に地球温暖化対策、自然との共生、資源循環、安全・安心の確保について

SDGs に根差した取り組み拡大をしていく。またその活動内容を卓話などで各クラブに情報伝達していききたいとの事でした。是非当クラブでも卓話の機会を頂きたいものです。



また 10 月 6 日～10 月 8 日に愛知県国際会議場で開催される「SDGs AICHI EXPO 2022」のブース出展の案内がされ、SDGs に力を入れている企業に PR をお願いしますとの事でした。

次に RCC について説明があり、特に地域社会の人達との協力連携を目指し、

- 1. コロナ関連対策
- 2. 社会福祉協議会への協力
- 3. 子ども食堂への参画
- 4. 震災支援
- 5. 各団体の予算削減に対する支援

などがあげられました。犬山クラブでは RCC としての活動は有りませんが他団体との連携や子ども食堂支援に於いては次年度の社会奉仕活動にて計画しています。

最後に「ロータリアンとしての職業奉仕とは」について次期地区職業奉仕副委員長より説明があり、職業（利益追求）と奉仕活動（代償なき行為）とは相反する活動では無いか？という疑問から「超我的奉仕」最もよく奉仕する者、最も多く報いられるという RC の公式標語について、また We Serve ～ I Saerve について説明があり他団体とは違うロータリーが真に取り組むべき活動を考えてほしいとの事でした。こちらも是非例会卓話に呼んでくださいとのことでいつでもどこでも説明に来てくれるそうです。

次年度、犬山クラブの社会奉仕事業としては地区補助金を活用して子ども食堂支援、また他団体との連携を目指して活動をしていきます。今回の研修で共通する部分も多く機会があれば卓話なども行いたいと思います。

以上、第 4 分科会の報告とさせていただきます。

* * * * *

◎第 5 分科会

小川 誠 次期ロータリー財団・国際奉仕副委員長

テーマ：この時期だからこそ、高いハードルに挑戦しよう！

～変化に対応できるクラブになろう～

先般の地区研修・協議会第 5 分科会の国際奉仕関連部門の報告をいたします。

2022-2023 年度の活動テーマは「この時期だからこそ、高いハードルに挑戦しよう ～変化に対応できるクラブになろう～」です。



＝報告 1＝

新しい制度となった地区補助金、グローバル補助金こちらは上限の100万円が3年前の年次寄付額の25%、最低5万円となりました。以上により活動が難しくなる場合は親クラブ・子クラブ、近隣クラブと連携して活動してくださいとのことです。

＝報告 2＝

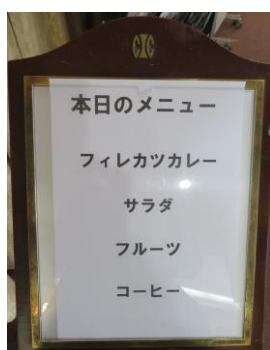
ロータリーファミリーとの連携

ローターアクト、インターアクトがロータリーと同じ立場になりました。ただ助成されている立場で自らは動きにくいのでロータリーと連携して活動してくださいということです。彼らや奨学生は自分の地元に何かをしたいと思っています。彼らはいろんな情報やネットワークを持っています。ぜひ耳を傾けて一緒にやってみては、ということでした。

ここ数年コロナ禍で国際奉仕がやれない、できない、行けないという苦戦が続いていますが、国際奉仕が動き出せばクラブの活性化の重要な委員会なので汗水を流して感動を味わい、新入会員の教育の場としてくださいとのことでした。

これを持ちまして第5分科会の報告と致します。ありがとうございました。

＝本日のお食事＝



ご 報 告

☆東尾張分区 現・次期会長幹事会

去る5月26日(木)東尾張分区現・次期会長幹事会が名古屋東急ホテルにて開催され、高橋会長、藤井幹事、板津次年度クラブ管理運営戦略委員長、安田一生次年度幹事、事務局が出席いたしました。

